

4. 信用金庫の役割

最後に、本提言内容を実現させていく中で、銚子市を営業エリアとしている銚子信用金庫の役割について、考えられるものを列挙する。

(1) 銚子観光かがやき隊への参画

今回の提言内容を実現していく上では、各組織のつなぎ役となると同時に、リーダー的役割も担うことになる「銚子観光かがやき隊」は重要な存在となる。銚子信用金庫ではここに参画し、必要に応じて以下のような役割を果たしていく。

- ・ マップ作成等実際の組織活動への職員による協力
- ・ 各種団体が必要とする市内外取引先の紹介（ビジネスマッチングガイドブックの活用）
- ・ 取引先（個人）に対して各種団体が主催するイベント等の告知、協力
- ・ 各種団体等の活動に対するアドバイス、情報提供等
- ・ 各種団体が主催する講演への講師等派遣（信金中央金庫との連携含む）、場所の提供
- ・ 観光振興に協力できる人材の育成（銚子信用金庫職員）

(2) 情報発信の拠点化

銚子信用金庫は市内に7店舗、県内に18店舗、県外4店舗の29店舗のネットワークを有している。その拠点を活用して、銚子観光の情報発信拠点としての役割を果たしていく。

- ・ 市内店舗窓口、ATM等に各種マップを配置（無人ミニ観光案内所）
- ・ 各種イベント等への職員の参加と独自情報の発信（自身のホームページ、ブログ、ツイッター等で発信）
- ・ 超Cちゃんとウレシイしんきんの併用使用
- ・ 金庫ホームページでの銚子観光情報の発信
- ・ 銚子市特産品を他金庫等への贈答品として使用
- ・ 市外、県外店舗内でのポスター掲示、パンフレット配置等

(3) 信用金庫への情報提供

信用金庫は全国に約270あり、その他、中央金融機関として信金中央金庫があり、全国のネットワークを構築している。こうしたネットワークを活用した情報提供・収集が行える。

- ・ 銚子観光マップの配布による個人旅行・年金旅行の誘客（宿泊施設による料金割引の提供）
- ・ 全国各地の観光マップの入手